

パラ☆スポくらぶ日誌

開催日：7月25日(4回目)

会 場：エア・ウォーターアリーナ松本(サブアリーナ)

1 スタッフ数

6人(長野ツインバスケットボールクラブ、松本市職員)

2 参加人数(スタッフ含む)

	年代	健常者	身体	精神	知的	介助者	合計	合計
参加者	大人	10	4					14
	中学生以下							
見学者	大人	1						1

3 実施種目

車いすツインバスケットボール

4 実施内容

- (1) 競技用車いすに慣れるため、車いすに乗ってフロア全体を周回
- (2) 横一列に並び、直線走行の競争(2回)
- (3) 講師が鬼となり、鬼ごっこ(2分×2回)
- (4) シュート練習
- (5) ゲーム 10分×3(ゲーム間に5分間のインターバル)

5 本日の様子

- (1) 競技用車いすを始めて体験される方も、初めは不安な様子を見せていましたが、自走させながら徐々に慣れ、ゲームに展開していくうえで意欲が出できたようで、休憩時間に他の参加者とシュート練習をする姿もみられました。
- (2) ツインバスケットボールの低いゴールは、車いすに乗っていても大人が手を伸ばせば届くくらいの高さであり、ゲーム中は関係プレーを展開しながら点を取り合い、皆さん懸命にプレーしていました。
- (3) 皆さん上手でした。短時間で車いすにも慣れて、プレーできるようになりました。
- (4) 障がい者がスポーツを行うには、ボランティアの力が必要です。ボランティアとして協力してくれる人も増えて欲しいと思います。
- (5) 車いすツインバスケットボールは、障がいの有無に関わらず誰もが楽しめるスポーツです。

